

・・・ご存じですか・・・

一宮市に保健・医療・福祉の機能が一体となって行っているモデル事業があります。

「一宮市在宅療養支援システム」と呼ばれるものです。

その内容を次に紹介してみます。

- ◆構成メンバー
一宮市医師会、一宮保健所、一宮市（市民部衛生課・福祉部福祉課）、一宮市社会福祉協議会、愛知県医師会の医療ケースワーカー、市内5病院のソーシャルワーカーの代表より構成され、進行は医師会の担当理事が行い、毎月1回開催している。
- ◆対象者
一宮市内に在住し原則として満65才以上で在宅の寝たきり状態にある者とするが、満65才未満の身体障害者や特定疾患いわゆる難病患者などの在宅療養者も対象とする。
- ◆加入について
この事業のサービスを希望する者は在宅療養支援システムモデル事業加入申出書に主治医の指定など必要な事項を記載して、主治医、市衛生課、市福祉課、保健所、市社会福祉協議会のいずれかを通じてセンターへ提出する。また、一宮市内の病院を退院後在宅での療養が必要な人が事業の対象となり加入を希望とする人については、退院後の療養の支援が適切かつ迅速に行えるように関係者間で退院時連絡会議を開いて協議する。



ボランティアー コスモス

なかなかお名前が覚えられなくて
申し訳なく思います。
ほんの少しのお手伝いなのに
「ありがとう」と何度も言っ
て下さり、とても嬉しいです。
泉母さんの
「外部の方からの話題提供が
入寮者にとっては非常に大切
の言葉も励みになります。」



宇宙塵

「不老長寿と幸福」 伊藤敬三

より多く愛されたい、より多く愛したい。全世界を己の自由にしたい。永遠の生命を得たい。しかし、なかなか得難いことでもあります。では何故。それは、優秀な人類が、何百か何十億年かは知りませんが、かくも短期間に発生、進化出来たことと相許れないからです。即ち、進化には、より多くのOption、より多くの世代の存在を必要とするからです。独断と偏見を披露してしまいました。

それ等は人類の目的ではなく、地球環境を破壊するほど繁栄した人類が、努力目標にする様に遺伝子に組み込まれている、に過ぎません。比処で話題を更に飛躍させまして、優秀な人々が支配しているのに、政治の非能率、世界の各地に於ける、血なまぐさい紛争が絶えないのは、どこに原因が存るのでしょうか。人間の素質には、家族単位の社会をよく運営できても、国家の様な大集団をより効果的に運営する事の出来る様に遺伝子が組み込まれていないのではないかと危惧しております。 (聖心堂医院院長)

☆ まごころサービス尾張センターもこのシステムの実務者会議にオブザーバーとして参加できることになりました。勉強させていただき、私達も何かできることがあればと思っています。参加をご承知くださいました森瀬先生はじめ皆様に心から感謝申し上げます。

・・・お原い・・・

既にご承知の通り、平成5年11月21日一宮市スポーツ文化センターで福祉バザーがあります。会では資金作りのため参加致します。家に眠っている不用品がありましたら、ご面倒でも事務所までお届け下さいますようお願い致します。

高齢者の為の
「シリーズ・ちょっと一品」

サンマとごぼうの炊き合わせ
背の青い魚は血管のお掃除役。
豊漁の今秋は、少々多めに作りおき下さい。

◆材料

サンマ	小3尾	だし	4カップ
昆布	30cm	酒	1/3カップ
ごぼう	中1本	酢	大さじ1
しじみ	1かけ	みりん	1/3カップ
		醤油	大さじ1

◆作り方

- 1) サンマは頭と内蔵を取って、約2.5cmの筒切りにし、さっと熱湯をかける。
- 2) 昆布は水に浸し3cmの角切、ごぼうは1口大の乱切りにし、水につける。しょうがは薄切り。
- 3) 鍋に昆布とサンマを交互に重ね、しょうがを散らし、ごぼう、だし汁、酒、酢も加え火にかける。ごぼうが柔らかくなるまで30分弱火で煮る。
- 4) みりん、醤油を加えて、1時間位煮ます。骨まで食べられて、しかも美味です・・・

◆嬉しいお便りをいただきました。
お料理の講師をお願い致しました上野さんより「コスモス通信」の内容についてとても喜んで下さいました。ありがとうございます。
◆市民病院の高橋さんより励ましのお電話をいただきました。力がわいてきます。
◆保健センターの服部さんより、事務所が出来て・おめでとう・の暖かい言葉をいただきました。ケアが増えて、はりきったり、戸惑ったり、頑張ります。

「まごころサービス」に参加して

いつかひと様のお役に立てることをしたいとぼんやりと、でも、ずーっと心の中で思い続けておりました。

親しい方から「まごころサービス」の会の話をお聞きし、迷う事なく行動に移し、今ケアをさせて頂いたことになりました。週一回、この日はどんなことにも優先し、カレンダーに赤丸です。お年寄りにはあまり接する機会もなく過ごしてきました私には不安の多い出発でした。

今、一カ月過ぎて高齢者のお食事は柔らかく、薄味で、と頭ではわかっていても、実際にいかに時間がかかっていても食べづらい物のあることを知りました。

そして、もっと大切なことは、相手の方に喜んでいただくことで、私が自己満足をしてはいけないうことです。

やがて迎える自分の姿を想像し、将来に向かっての生き方を考えるいい機会をいただいたと思えます。誠の心でさせていただくことで、至らない部分は見えて見ぬ振りをしていただけただけなら嬉しいなと思うのです。そして、ケアを継続していか私の訪ねる日を「心待ちにしています」と言っていたいただけるのを楽しみに・・・ (S・S)